



2019年2月8日

各 位

会 社 名 アイサンテクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長 加藤 淳
(JASDAQ コード番号 4667)
問合せ先 執行役員 経営管理本部
副本部長 曾我 泰典
(Tel 052-950-7500)

**「あいち科学技術・知的財産アクションプラン 2016-2020」追補版
「重点施策パッケージ 2018-2020」に採択されました**

アイサンテクノロジー株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：加藤 淳）は、2019年2月7日に「あいち科学技術・知的財産アクションプラン 2016-2020」追補版「重点施策パッケージ 2018-2020」に採択されましたのでお知らせします。

■概要

愛知県では、2020年度までに取り組むべき科学技術・知的財産施策の方向性や具体的な取り組みを明らかにする「あいち科学技術・知的財産アクションプラン 2016-2020」を平成28年2月に策定しました。

プラン策定後、AI・IoT・ビッグデータなど情報処理技術を核とした第4次産業革命の進展や、自動車産業における電動化、自動運転の動きなど、社会経済の変化が進展しております。

プランの推進の一環として、社会経済の変化に対応した新たな中期的産業育成課題を明らかにするとともに、課題解決に向けて愛知県が重点的に取り組むべき施策の方向性を示すため、外部有識者で構成する「あいち科学技術・知的財産アクションプラン推進委員会」の意見を踏まえ、2018年度から2020年度を対象とした「重点施策パッケージ」が策定されました。

本パッケージでは、重点的に取り組むべき3つの中期的産業育成課題を定めるとともに、その課題に対応した13の課題解決の方向性（研究開発分野）を設定がされております。

当社は「重点施策パッケージ 2018-2020」に基づき公募がなされた課題に応募し、研究シーズとして選定されました。

■研究課題について

当社は、中期的産業育成課題「自動車の電動化、情報化、知能化及びMaaS※に係る100年に一度の大変革期に対応した新しいビジネスモデルの構築」における「5. コネクティド関連及びMaaS分野」において研究開発を進めることを通じて科学技術・知的財産施策の推進を行います。

（※Mobility as a Service、自動車などの移動手段を、必要なときだけ料金を払ってサービスとして利用することの略）

具体的には、愛知県で日本初となるLevel4自動運転サービスの実用化を、愛・地球博記念公園エリアを中心に実現することを目的とし、特にN対Mの複数台自動運転サービス実用化を行うべく、その実現に必要なMaaS分野を中心とした研究開発、コネクティド技術を含めた自動運転技術開発、サービス分析を目的としたビッグデータ分野の研究開発を、知の拠点あいちをフィールドとした継続的な実証実験を含めて行い、2020年以後の実用化を目指します。

詳細につきましてはこちらをご確認ください（愛知県ホームページ）

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/san-kagi/juten-seeds-koubo2.html>

以上